

谷塚駅西口地区 まちづくりニュース

令和5年3月

発行：谷塚駅西口地区まちづくり権利者協議会
草加市都市整備部都市計画課



TOPIC

令和4年度第2回谷塚駅西口地区まちづくり検討会を開催しました！

令和5年2月18日（土）に、まちづくり権利者協議会と草加市の共催による2回目のまちづくり検討会を開催し、意見収集の結果や、都市基盤・事業手法の見直しの方向性等について、参加者の皆さまと話し合いを行いました。当日で説明した内容の要点については、中面(p2-3)をご覧ください。

参加者の方から出された主なご意見

検討の進め方について

- ・来訪者のことを考える一方で、住んでいる人のニーズを中心に検討するべきではないか。
- ・具体的な計画案を提示してほしい。
- ・交通事業者などの意向も把握して進めたほうが良いのではないか。

整備の方向性について

- ・交通事故も発生していることから、谷塚小学校通りに歩道を整備してはどうか。
- ・都市基盤の整備内容や手法を具体化してほしい。
- ・市内の他地区との比較を行い、谷塚駅西口らしい計画にした方が良い。
- ・住んでいる人が楽しく使えるような公園や広場が不足しているため、駅前に整備してはどうか。

INFO

次年度も引き続きまちづくり検討会を開催します

次回は、令和5年6～7月頃に開催予定です。

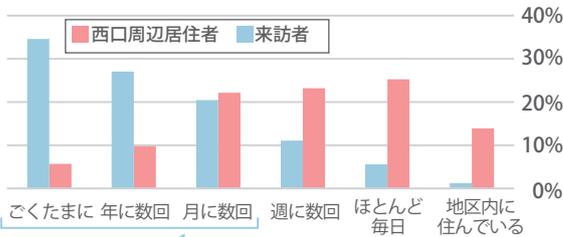
主な議題（案）：道路や駅前広場のパターン比較検討、まちづくり用地の活用実験の企画案について

1 アンケート調査の結果

前回のまちづくりニュース・まちづくり検討会でお知らせした、谷塚駅西口周辺を実際に利用している方々への意見収集結果の概要をご報告します。

調査の結果、**駅前に訪れる目的が特でない状況**であることが分かりました。駅に用事がある人だけでなく、レストランやスーパー、カフェ等があり、子育て世帯や学生、高年者など**幅広い人が訪れることのできる駅前**が求められています。

谷塚駅西口地区への来訪頻度



居住者の約4割は月に数回以下しか利用していない

谷塚駅西口地区を訪れる目的 (回答が多かったもの)

西口周辺居住者

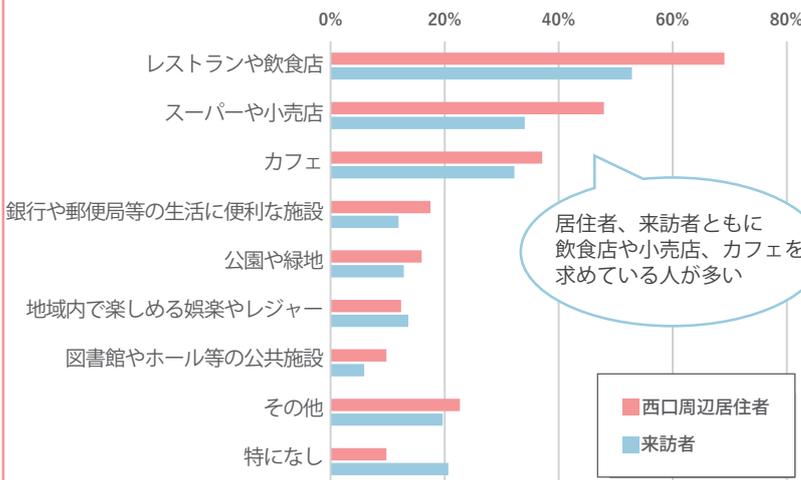
- 1位: 日常の買い物
- 2位: 目的地に向かう途中に通過
- 3位: 通勤・通学

来訪者

- 1位: 目的地に向かう途中に通過
- 2位: 日常の買い物
- 3位: 飲食

居住者、来訪者ともに通過利用が多く、駅を訪れる目的が特でない

谷塚駅西口地区に不足していると思うもの



居住者、来訪者ともに飲食店や小売店、カフェを求めている人が多い

参加してみたい社会実験 (回答が多かったもの)



- 1位: 新鮮な野菜等を販売するマルシェや朝市によるにぎわいづくり



- 2位: キッチンカーや屋台の飲食店出店によるにぎわいづくり



- 3位: ベンチや芝生等の設置による憩いの場づくり

駅前・駅前広場の望ましいイメージ (回答が多かったもの)



- 1位: 周辺の飲食店や店舗と一体になった賑わいを感じられる駅前



- 2位: ベンチやストリートファニチャーが整備され、少しの間留まれる駅前



- 3位: 交通ローターが整備され、快適に乗換えができる駅前



- 4位: 花や緑が豊かで、うるおいを感じられる駅前

西口全体の望ましいイメージ (回答が多かったもの)



- 1位: 店舗や交流施設等が複合した施設で思い思いに過ごせるまち

「住宅街」のようなイメージよりも、幅広い人が利用できるような賑わいや憩いの場の方が望まれている



- 2位: 個性的な小規模店舗が軒を連ねる商店街のあるまち



- 3位: 大型の商業店舗が出店し、多くの人で賑わうまち

調査概要

- 期間: 令和4年12月8日~12月21日
- 手法: アンケートモニターサービスを活用したwebアンケート
- 回答数(母数): 谷塚駅西口周辺の居住者(200名) 谷塚駅西口周辺を訪れたことがある方(1300名)
- 回答者の年代: 19歳以下: 0.3%、20~30代: 14.2%、40~50代: 63.5%、60代以上: 22.0%

2 インタビュー調査の結果

今後整備される公共空間を利活用する可能性がある方々（商店街や大学、まちづくり活動をしている団体など）へインタビュー調査を行いました。

地区内にはあまり知られていないような魅力があることを評価する声があった一方で、防犯・安全上の課題や、広場や交流の場など何か行動を起こしたいと思ったときに活用しやすい場所がないという声もあり、**安心安全で利用しやすい駅前**が望まれています。

谷塚駅西口地区の魅力や現状について

- ・こだわりのある個店や、駅から少し離れた場にある農地等、あまり知られていない魅力も多くある。
- ・西口は“何も無い”と言われるが、**駅前のまとまった空地は大きな魅力**である。
- ・リノベーションスクール開催後、お店を探している人が増えてきている。



谷塚駅西口地区の課題について

- ・「昼間のお店」、「子育て世帯」や「学生」が利用したいお店、**「交流」できる場が少ない**。
- ・小さい公園がぽつぽつあるよりも、まとまった公園があった方がよい。
- ・まちを面白くしたいと思っている人が**活動できる場所がない**。
- ・駅前や小学校通りなど、歩道が不十分で車両との接触の危険を感じる場所が多い。
- ・夜間は暗く、**防犯上・安全上の不安を覚える**。

これからの駅前まちづくりについて

- ・谷塚で育った子どもが谷塚で遊んだ思い出をもってもらうことが大事。
- ・今の駅周辺は駅に来る理由がないために利用されない場所になっているので、**駅周辺の用事（行く理由、目的地）を作っていく**といけない。
- ・区画整理事業で進める場合、多くの時間がかかってしまうことから、道路を先行させるなど違う整備手法による進め方ができないか。



3 都市計画の事業導入に向けた検討

現在の計画は、高度経済成長期の1971年に都市計画決定された道路、駅前広場をベースに検討していますが、**当時の想定から社会状況は大きく変化**しています。

施行期間の短縮や権利者負担の軽減、車中心から人中心へのシフト等の視点から、都市計画の位置づけや効果的・経済的な道路ルートのあり方、事業手法について、継続的に検討していきます。

都市計画決定当時の考え方： 駅前には車のための空間



現在主流となりつつある考え方： 駅前にはまちの顔、憩いや活動の拠点



次年度の進め方（案）

今後、権利者の皆さんと一緒に検討したいこと

次回のまちづくり検討会では、これまでの検討を踏まえて整備の方向性を示すため草加市から「まちづくり基本構想（仮称）」の素案を提示することを予定しています。

この案をもとに協議会の皆さんからのご意見をいただき、計画の具体化、事業化に向けた検討を進めていきます。

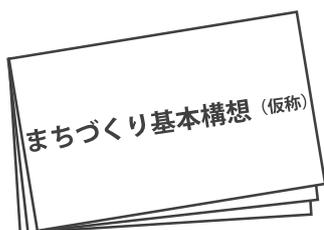
検討会の主な議題

R5 年度

- 道路や駅前広場のパターン比較検討
- まちづくり用地の活用実験の企画案
- 交通量調査の結果
- 導入機能、事業手法の検討
- まちづくり用地の活用実験の結果

草加市の主な取り組み内容

- 「まちづくり基本構想（仮称）」の素案の作成
- 交通量調査
- まちづくり用地の活用実験
- 民間事業者へのサウンディング調査



まちづくり基本構想（仮称）について

将来の都市計画決定や事業計画の策定に向けて、西口の目指すべき将来像や都市基盤のあり方、実現に向けたポイントなどについて、幅広い関係者に示すために作成します。

TOPIC まちづくり用地の活用が進んでいます！

令和5年2月26日に谷塚西口商店会・谷塚駅東口商店会の共催で、谷塚駅西口のまちづくり用地活用イベント「第1回草魂祭」が開催されました。

商店会のお店やキッチンカーの出店、フリーマーケットやお笑いライブなど、様々な企画が行われ、大盛況となりました。

まちづくり用地では、今後も継続的に活用イベントを実施していくことを検討中です。

協議会が主催したものではありませんが、将来の谷塚駅西口の活用イメージにつながる参考として、皆さまにお知らせします。



▲第1回草魂会の様子

テーブルやイスでくつろぐ人が多くみられました。

【問合せ先】

谷塚駅西口地区まちづくり権利者協議会事務局

草加市役所 都市整備部 都市計画課 まちづくり推進係 杉田、益子、福島、高谷

〒340-8550 草加市高砂一丁目1番1号

電話 048-922-1802（直通） FAX 048-922-3145

E-mail toshikeikaku@city.soka.saitama.jp